

あらゆる事に困難を
抱えた中で生きている
子どもたちの現状



未来子どもネットワークは、
2000年に設立し子どもたちの明るい未来を
支援する事を目的とした活動を行っています。

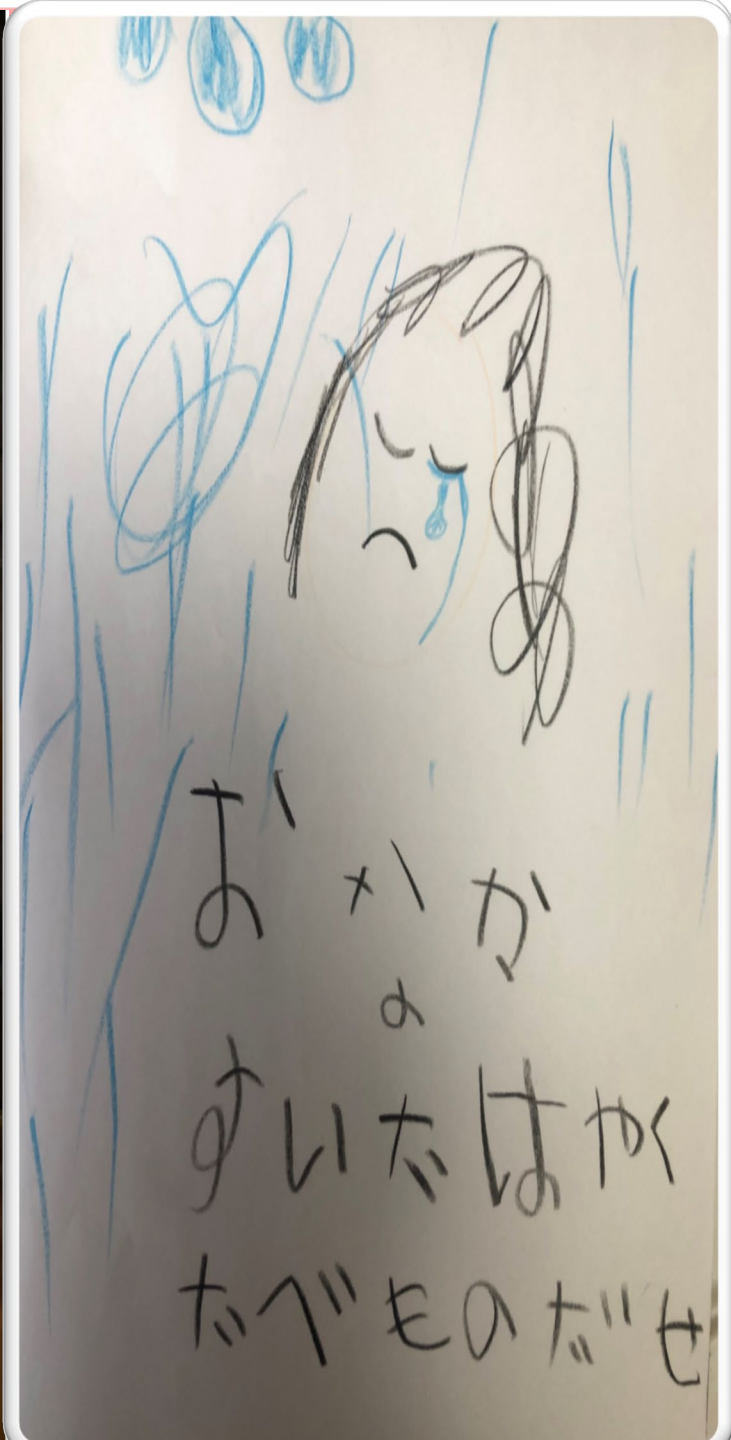
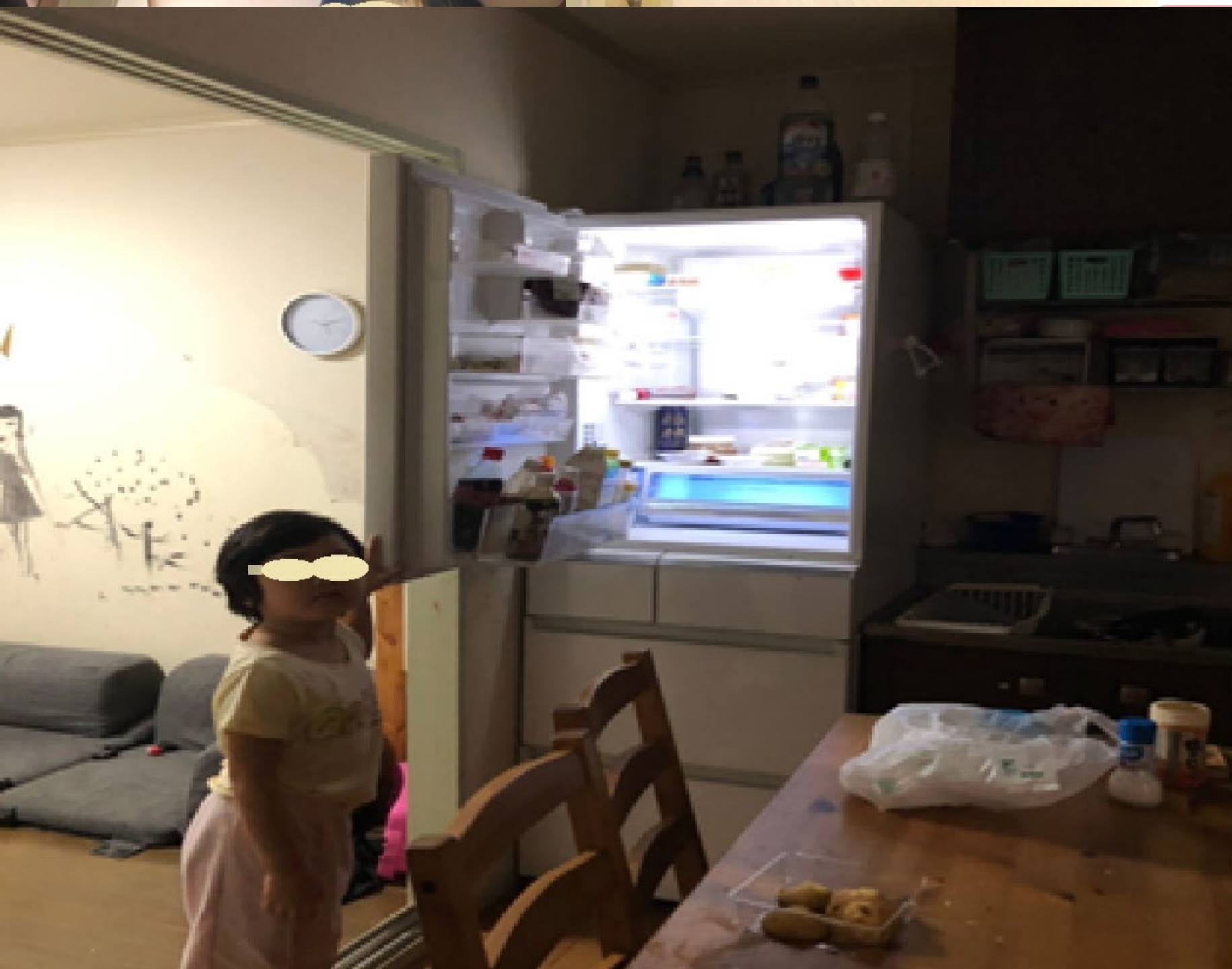
<http://www.miranet.or.jp/>

12歳・15歳・17歳の僕

- * お米2合しかないよ。お塩でいい。
- * 動くとお腹が空くんだよ。メガネの共有。
- * 小学校時代の兄妹の状況
- * 携帯電話充電はここ。200円で泣いた日
経緯によるハードルの違い。

食べる物がなかったら…
困っていると言ってきた時は…





お
の
すいたはやく
たぐものたせ

か
が
の
たせ

ぼく、かー君。

ぼくは、かー君、5歳。
居酒屋の2階にママと二人で暮らしている。
パパは、知らない。生まれる前からパパはいない。

ママは、時々薬をいっぱい飲んで
ぼくが保育園に行っている間にいなくなっちゃうんだ。

だから、ぼく、ママが悲しそうになってきたら
心配で保育園に行かない、行かれない。

ぼくは、ママが泣かないように静かに家にいるんだ。
ぼくは、ママがお腹空かないように食べるものを一人で買いに行くんだ。

ぼくが頑張っても、それでもママがいなくなっちゃう時があるんだ。
そんな時、保育園に知らない人が僕を迎えにくるよ。
そして知らないお友だちがいっぱい居る所でしばらく過ごすんだ。
そして、すごくいい子にしているんだ。
そしたら、またママに会えるよって大人の人に言われる。

家は、時々ご飯がないよ。
だから、子ども食堂で僕とママはご飯を食べるんだ。
だから、ぼくはママの事がすこし安心。





幼児でいることのしんどさ

親を見守る→親の代わりになる。
幼いながらも自分の事より
まず親のことを真っ先に考える。
年齢や成長の度合いに不釣り合いなものである。
ケアが子どもにとって過度な負担になっている。



この状態を「いい子」としてとらえられてしまっている。
ネグレクトとしての見立てはあったとしても、
ヤングケアラーとしての捉え方がまだない。

2014年当時の
ヤングケアラーに
ついての説明です。
約10年経過して
変わった事は？

- 家事(買い物)
- 一般的ケア(薬を飲ませる移動の介助など)
- 情緒面のサポート
(家族の感情状態の観察、落ち込んでいる時に
元気づけようとする事など)

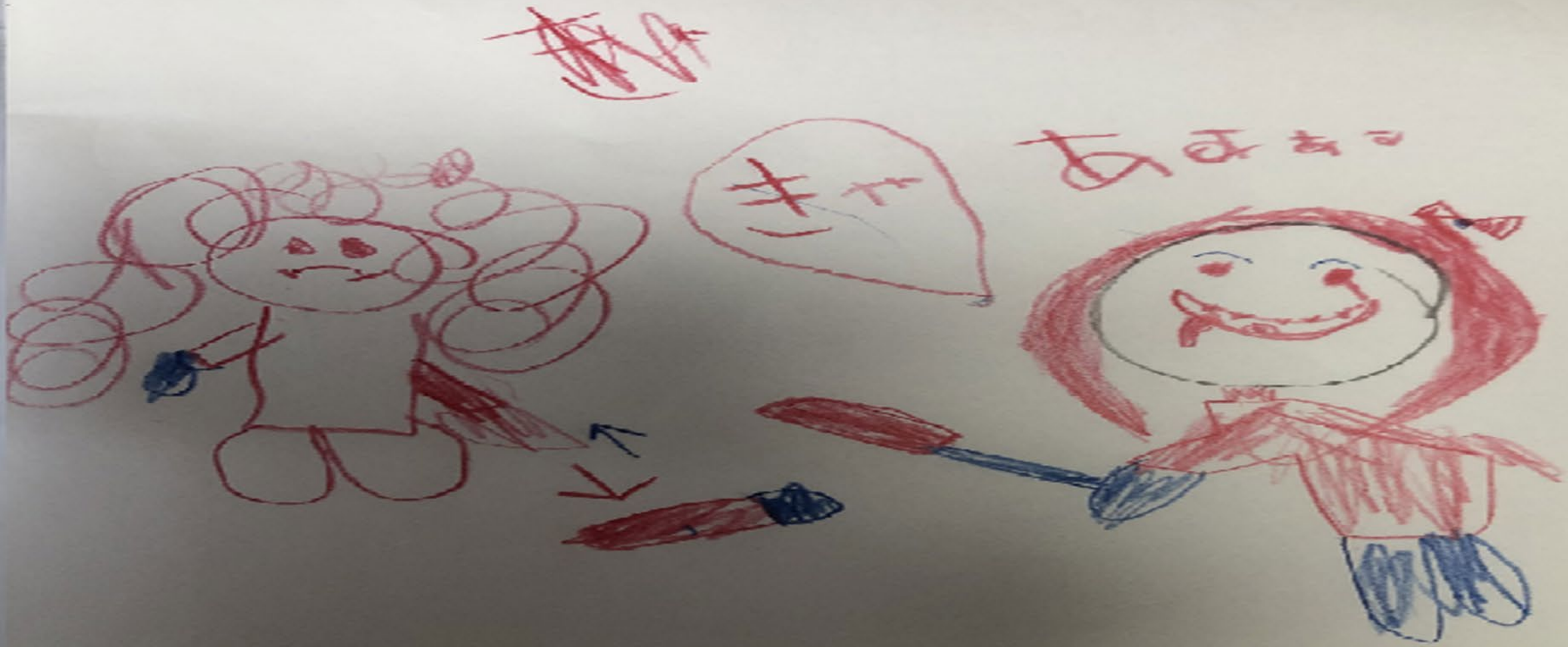
- 家族のための通訳
- 失われていく時間
年相応に生きていく事が困難
例えば→自分の事より母の事を先に考える
救急車にのり一晩付き添う

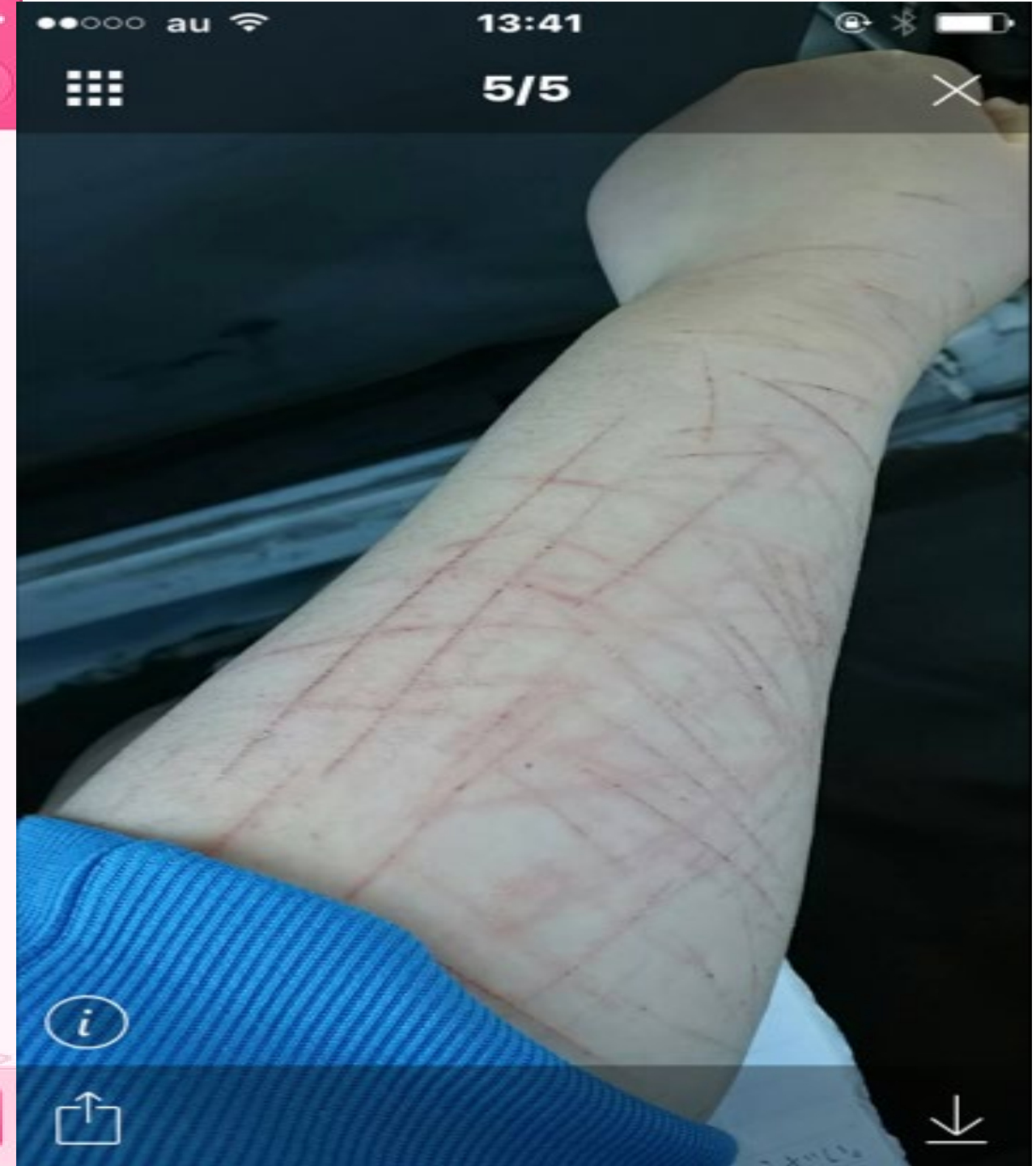
介護を担う子ども(ヤングケアラー)への具体的な支援策は行政でまだ整っていない。少子高齢化であり、これからもヤングケアラーが増えていく。そのためにヤングケアラーを支える仕組みを作り出していくことが大切

まずは介護の専門職である担当ケアマネジャーや保健師などがヤングケアラーの存在を知り、どの程度介護の負担をしているのかということに気付くことが必要。

子どもらしい時間を過ごせず、親や家族の心配や面倒を見なければならない状況に追い込まれている子どもたちが問題なのだと言う捉え方は、日本の文化・慣習として難しく、「頑張っているいい子」で終わってしまう現実がある。

Handwritten symbols and characters at the top of the page, including a large hash symbol (#), a stylized character resembling a '2' or 'f', a pair of parentheses '()', and a series of symbols including a dollar sign '\$', a tilde '~', a plus sign '+', a comma ',', a vertical bar '|', and a less-than sign '<'. There is also a faint, illegible word written in red below these symbols.





ふみちゃん（仮名）10歳ケース

- 世帯の状況
- 父・母・叔父（母弟24歳）

本児 A B C D E F

• 10歳 7歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳

- 貧困？ ネグレクト？ ヤングケアラー？



ネグレクトの定義を再読してみれば

子どもが生きていくのに成長
する為に最低限度必要なものや
最低限度の環境を与えてない場合



0. 子ども本人の基本情報

性別 男 女 その他 ()
 年齢 () 歳

要対協登録 種別

初回作成日 年 月 日

最終更新日

ヤングケアラーとは

「本来大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」のことをいいます。

1. 本来守られるべき「子どもの権利」が守られているか - 子どもと関わりのある第三者が、ヤングケアラーの可能性のある子どもを発見するために

①健康に生きる権利

- 必要な病院に通院・受診できない、服薬できていない ★
- 精神的な不安定さがある ★
- 給食時に過食傾向がみられる（何度もおかわりをする） ★

(その他の気になる点)

- 表情が乏しい
- 家族に関する不安や悩みを口に出している
- 将来に対する不安や悩みを口に出している
- 極端に痩せている、痩せてきた
- 極端に太っている、太ってきた
- 生活リズムが整っていない
- 身だしなみが整っていないことが多い（季節に合わない服装をしている）
- 予防接種を受けていない
- 虫歯が多い
-
-
-

②教育を受ける権利

- 欠席が多い、不登校 ★
- 遅刻や早退が多い ★
- 保健室で過ごしていることが多い ★
- 学校に行っているべき時間に、学校以外で姿を見かけることがある★

(その他の気になる点)

- 授業中の集中力が欠けている、居眠りしていることが多い
- 学力が低下している
- 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 学校（部活含む）に必要なものを用意してもらえない
- お弁当を持ってこない、コンビニ等で買ったパンやおにぎりを持ってくることが多い
- 部活に入っていない、休みが多い
- 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- 校納金が遅れる。未払い
- クラスメイトとのかかわりが薄い、ひとりであることが多い
- 高校に在籍していない

③子どもらしく過ごせる権利

- 幼稚園や保育園に通園していない ★
- 生活のために（家庭の事情により）就職している ★
- 生活のために（家庭の事情により）アルバイトをしている ★
- 家族の介助をしている姿を見かけることがある ★
- 家族の付き添いをしている姿を見かけることがある ★
- 幼いきょうだいの送迎をしている姿をみかける ★

(その他の気になる点)

- 子どもだけの姿をよく見かける
- 年齢と比べて情緒的成熟度が高い
- ともだちと遊んでいる姿をあまり見かけない
-
-
-
-
-

生きる権利



守られる権利



育つ権利



参加する権利



子どもの最善の利益

困っている子どもの支援

学校からみて、困った子、困った家庭・困った家族は、
困った子や困った家庭から見れば、
何かに困っている子、何かが困っている家族がそこにいる。

福祉の原点「なぜそうなったのかは問わず。困っている今をまず支援する。」

だけど、ちょっと待って

支援する時に、可哀想だから助ける！という支援の在り方は危険かも。

可哀想にみえなかったら→ 助けない・・・かも知れない

自己責任を子どもに求めている支援の在り方になってしまう。

これらかの課題

体験格差の支援が重要

A group of people, including a man in a blue and white patterned t-shirt and khaki pants standing on the top step, and several others sitting on the steps below. They are in a cemetery with many stone grave markers. The scene is outdoors with a cloudy sky and some buildings in the background. A large white text overlay is present in the foreground.

何気ない事の積み重ね

何でも話せる雑談のできる場所

安心する居場所ってなにか…寄り添うって事しちゃってないかな

家でも学校でも
ない場所の事だよ

雨の日でも、晴れの
日でも、いつでも
友だちと安心して
遊べる場所なんだよ

いつもお腹がすい
ているよ。子ども
だけでもご飯食べ
られる場所

色々なコト本当は、
してみたいんだ！
それをさせてくれる
場所なんだよね。



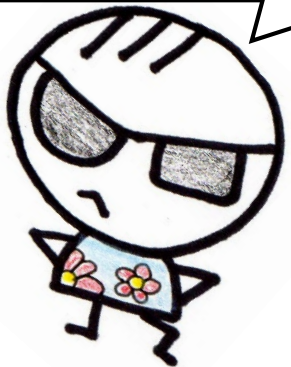
地域の中にある



なんでもない話で
も話していい所。
雑談を聞いてくれ
る人がいるところ

第3の居場所

傍で宿題み
てほしい。
ひとりぼっち
じゃやる気し
ないんだよ。





**ヤングケアラーは、
何が問題なのか？
支援の糸口は、
どこにあるのか？**



ありがとうございました。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。

©一般社団法人日本ケアラー連盟



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている